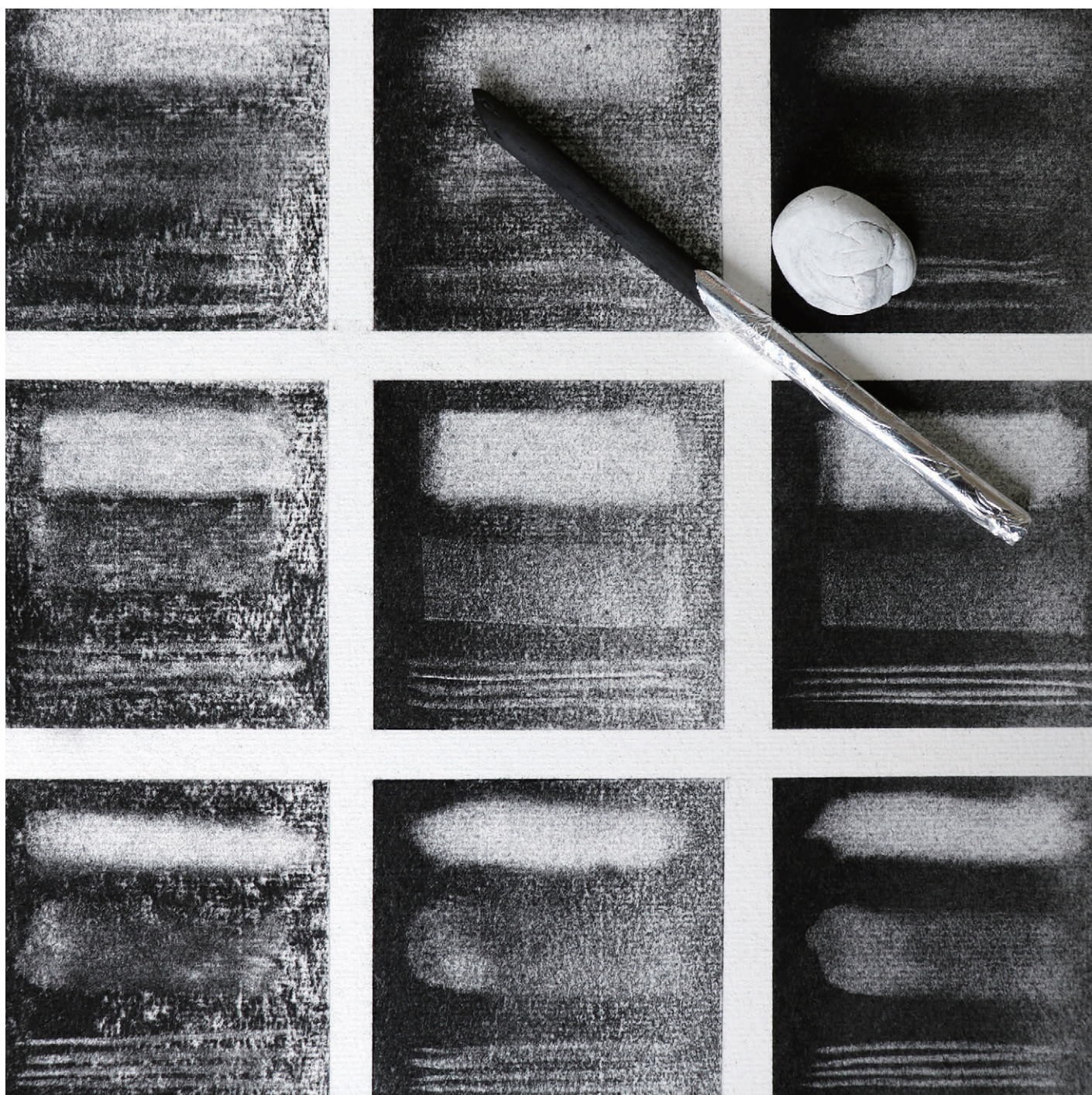


Educational Program: Citizens' Workshop

市民のアトリエ プログラム

2026.10－2027.3



展覧会関連プログラム

「マリー・アントワネット・スタイル」展関連

本展をより深く楽しんでいただくために多彩なプログラムをご用意しました！
各分野のスペシャリストが、華麗なるマリー・アントワネットの世界へご案内します。

ドレスの構造から紐解くマリー・アントワネット・スタイル 21 22

● 長谷川 彰良 (衣服標本家)

18世紀、ドレスは単なる衣服から芸術へと昇華されました。本プログラムでは、マリー・アントワネット時代の正式な宮廷服「ローブ・ア・ラ・フランセーズ」と、19世紀の美の極致「クリノリンドレス」を徹底解剖。実物のドレスを用いて、独創的な内部構造とテキスタイルの秘密を解き明かします。後半には、当時の本物のドレスに触れる特別な時間も。歴史の表舞台を彩ったドレスの裏側へ潜り込んでみませんか。

日程＝10/18 ㊤【1回】 締切9/28 時間＝21 Aコース 10:30-12:30 22 Bコース 14:00-16:00
定員＝各コース30名 参加費＝各コース3,500円

長谷川 彰良 はせがわ・あきら

1989年生まれ。「100年前の感動を100年後に伝える」という想いを形にした「半・分解展」を全国各地で開催。同展は、衣服を介して歴史と芸術を迫体験し、美の根源に触れることができる体験型美術展。視覚のみならず「触覚」を通じ、歴史的な衣服と対話する場を創造している。著書『あたらしい近代服飾史の教科書 衣服の標本で見る、着るものの歴史と文化』（翔泳社）



1760年代ローブ・ア・ラ・フランセーズ
長谷川彰良『あたらしい近代服飾史の教科書』（翔泳社）
撮影：安井真喜子

わたしたちのマリー・アントワネット・スタイル 23 みて、選んで、話して－現代の視点でつくる王妃像

● 小林 亜起子 (美術史家)

知るほどに、見え方が変わる。話すほどに、王妃像が広がる。「みて・選んで・話して」、みんなで“マリー・アントワネット”について語り合う、参加型ワークショップです。まずはワークシートを手に展覧会を鑑賞。あなたが感じる王妃の「魅力」や「不思議」を探してみましょう。後半のグループワークでは、それぞれの発見をシェア！時を超えて私たちが惹きつける新たなマリー・アントワネット像を一緒に作り上げてみませんか？
※当日に限り、ワークショップ終了後も「マリー・アントワネット・スタイル」展をご鑑賞いただけます。

日程＝11/8 ㊤【1回】 締切10/19 時間＝11:00-15:00（昼休憩1時間含む） 定員＝16名 参加費＝4,000円

小林 亜起子 こばやし・あきこ

多摩美術大学美術学部准教授。ローザンヌ大学博士（文学）、東京藝術大学博士（美術）、パリ第10大学学士・修士（美術史）。専門はフランス美術、装飾美術。主著に『ロココを織る』（中央公論美術出版）、共著に *Arachné : un regard critique sur l'histoire de la tapisserie* (Presses universitaires de Rennes)、『イメージ制作の場と環境』、『新古典主義美術の系譜』（以上、中央公論美術出版）などがある。



[オープンプログラム] わたしの一着をデザインする

「マリー・アントワネット・スタイル」展から受けたインスピレーションを形にしてみませんか。人物のアウトラインが印刷されたデザイン画用テンプレートと色鉛筆などの画材を用意しています。展覧会の余韻のなかで、心に浮かんだドレスやヘアスタイルのイメージを自由に描いてみましょう。

日程＝8/22、9/19 ㊤ 時間＝各日11:00-16:00（最終受付15:30まで） 会場＝じゅうエリア
対象＝参加年齢の目安 小学生以上（小学生以下は保護者と一緒にご参加ください。） 参加費＝無料
※事前申し込みは不要です。会場へ直接お越しください。



マリー・アントワネット・スタイル展では、ここに掲載する他にも様々な関連イベントを開催いたします。

- 講演会「時代を超えるインフルエンサー、マリー・アントワネット：18世紀フランス宮廷衣装から現代モードまで」
- レクチャー「香りの価値をつくる－マリー・アントワネットの時代から現代の調香へ」
- 上映会（マリー・アントワネットを題材とした映画）

● 詳しくは公式サイトをご覧ください →
<https://www.marie2026.jp>



市民のアトリエへようこそ

市民のアトリエには、版画室、平面室、立体室という充実した設備を持つ部屋があり、様々な創作活動を体験することができます。

12歳以上の方ならどなたでもお申し込みいただけます。(一部プログラムをのぞく)

お申し込みは
ウェブサイトから
詳しくは裏面をご覧ください

アートとふれあう

アーティストや専門家、当館エドゥケーターととりくむプログラムです。

市民のアトリエ体験ワークショップーテラコッタとスクリーンプリント 24 25

桜庭 瑠実、木下 貴博、柳川 文秀、若林 祐季 (当館エドゥケーター)

市民のアトリエを施設見学と創作体験を通してご紹介するプログラムです。素焼きの焼き物であるテラコッタ制作とスクリーンプリントの刷り体験をします。テラコッタ制作では粘土で自由につくったオブジェをアトリエ内の陶芸窯で焼成します。版画の一技法であるスクリーンプリントでは、手描きの絵や文字を小さな布袋に刷ります。いくつもの機能を持つ市民のアトリエならではの楽しみ方をご提案します。

24 Bコース 12/1・22 ㊥ [2回] 締切11/12 25 Cコース 1/24、2/21 ㊥ [2回] 締切1/7

●各コース

時間＝13:30-16:30 定員＝16名(2名申込み可) 参加費＝ひとり3,000円(材料費、焼成費込)



市民のアトリエ

横浜美術館 コレクション関連

クロチェッティの魅力、彫刻家の視点 26

中村 義孝 (彫刻家)

当館ではヴェナンツォ・クロチェッティ作《平和の若い騎手》という大きなブロンズの騎馬像を所蔵しています。蛸型ブロンズ鑄造を専門とする彫刻家を講師としてお迎えし、クロチェッティ氏との出会いや、当時のイタリアのブロンズ彫刻制作工程を中心にお話しいただきます。質疑応答の時間も予定しております。ブロンズ彫刻について知りたい方も専門家の方もぜひご参加ください。



クロチェッティ氏と中村氏 (1997年)

日程＝11/21 ㊥ [1回] 締切11/5

時間＝14:00-15:00 定員＝35名(2名申込み可)

参加費＝ひとり1,500円

知るともっと楽しい！版画シリーズ③

銅版画 長谷川潔 レースの表現に学ぶ 27

渡辺 達正 (版画家) 崔 恩知 (版画家)

長谷川潔の銅版画には、繊細なレース模様を取り入れた作品があります。このレースを美しく表現するため、作家は様々な工夫を凝らし、独自の転写技法を編み出しました。シリーズ最終回となる本プログラムでは、当館コレクション作品の鑑賞とともに、エッチング(腐蝕法)による制作を通して、その技法の秘密に迫ります。

※刷りの工程では、通常の紙への刷りとともに「石こう刷り」も体験します。



長谷川潔《二つのアネモネ》1934年

日程＝11/15・22・29、12/6・13 ㊥ [5回] 締切10/26

時間＝13:30-16:00 定員＝14名

参加費＝19,000円(材料費込)

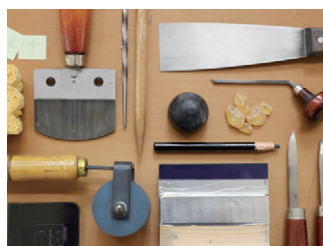
版画体験コース 28

インストラクター

赤本 啓護 / 銅版画担当 岩渕 華林 / スクリーンプリント担当

横尾 拓郎 / リトグラフ担当

市民のアトリエの版画室では、プレス機などの専門的な機材を使って銅版画やスクリーンプリント、リトグラフの制作をすることができます。このコースでは、いずれか一つの版種を選択して基礎的な工程を体験します(申込は複数版種可)。インストラクターは、版を用いた表現により作品を制作しているアーティストと一緒に体験をしながら版画の見方や考え方に触れてみてください。



日程＝Cコース 1/23・30、2/6・13・20 ㊥ [5回] 締切12/22

時間＝10:10-12:30

定員＝銅版画6名、スクリーンプリント4名、リトグラフ3名

参加費＝15,000円(材料費込)

ゆっくりじっくり描く時間

ー静物デッサンと人体クロッキー 29

柳川 文秀 (当館エドゥケーター)

「観察して描く」という体験を通して、新しい発見と集中する楽しさを味わってみませんか。果物、野菜、人体などをじっくり見つめて描いてみます。普段見慣れているものでも視点を変えてみると色々な驚きと出会えるはず。描くための紙や画材はこちらでご用意します。簡単なレクチャーやサポートもありますので、初めての方も安心してご参加ください。



制作風景(イメージ)

日程＝1/23・30 ㊥ [2回] 締切12/21

時間＝13:30-16:00 定員＝15名

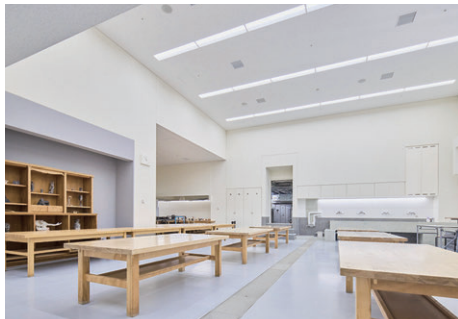
参加費＝6,000円(材料費込)

オープンスタジオ

オープンスタジオは、参加するみなさんが自主的に制作にとりくむ時間です。
各室でインストラクターやエドゥケーターなどスタッフが制作をサポートします。

オープンスタジオ立体室 12 30 31 32 33

● 木下 貴博、若林 祐季（当館エドゥケーター）



撮影：新津保建秀

粘土で制作して、美術館の窯で素焼きをする「テラコッタ」と、木を素材として立体制作をする「木彫」の2種類があります。どちらも立体室の道具をお貸しします。

「木彫」は、初めての方も参加しやすい材料を用意してあるコースと、立体室でかつて木の作品や木彫等を制作された参加者で開催期間中に完成できなかった方、自宅で続けて制作することが困難な方のための「木彫・継続」のコースがあります。

「テラコッタ」は、テラコッタ用粘土で制作します。制作中の作品は立体室でお預かりします。基本的に自主制作ですが、初めての方や慣れていない方は、道具の使用、制作内容について担当エドゥケーターに相談しながら制作できます。

《木彫》

12 Bコース 10/10・17・24、11/7・14・28、12/12 ⊕ [7回] 締切9/17

時間＝13:30-16:00 定員＝8名 参加費＝14,000円（材料費込）
※材料は楠、約4cm角で長さ25cmの角棒状のものや厚み4cm×15cm×15cm程度の板状や10cmから15cm程度の高さとした形の材料から初日に2つ選べます。

《木彫・継続》

30 Dコース 12/13・20、1/10 ⊕ [3回] 締切11/26

31 Eコース 1/19・26、2/9 ⊕ [3回] 締切1/5

32 Fコース 2/13・20、3/6 ⊕ [3回] 締切1/28

●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝4,500円
※材料は含まれておりませんので、制作途中の作品をお持ちください。

《テラコッタ》

33 Dコース（2キロ） 2/27 ⊕・28 ⊕、3/20 ⊕ [3回] 締切2/14

時間＝13:30-16:00 定員＝12名
参加費＝6,000円（材料費、焼成費込）

オープンスタジオ平面室 34 35 36

● 柳川 文秀（当館エドゥケーター）



撮影：新津保建秀

「人体クロッキー」と「静物デッサン」の2種類のコースがあります。どちらのコースも指導はありませんが、初めての方や慣れていない方は、スタッフにご相談ください。

「人体クロッキー」は、美術モデルを依頼して人体を描く時間です。5分、10分、20分などポーズ時間を変えて描きます。「静物デッサン」は、さまざまな形や質感のモチーフを組み合わせた静物をじっくり観察して描く時間です。

《人体クロッキー》

34 Cコース（着衣） 11/11・18・25、12/2 ⊕ [4回] 締切10/19

35 Dコース（着衣） 2/13・20・27、3/6 ⊕ [4回] 締切1/21

●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝16名 参加費＝8,000円

《静物デッサン》

36 Bコース 12/5・12 ⊕ [2回] 締切11/12

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝3,600円

※各コース、カルトン（画板）とイーゼルはお貸しします。紙と画材類は各自でお好きなものをお持ちください。（ただし油絵具は使えません。）

オープンスタジオ版画室 37 38

インストラクター

● 赤本 啓護／銅版画担当 ● 岩渕 華林／スクリーンプリント担当 ● 横尾 拓郎／リトグラフ担当
● 桜庭 瑠実（当館エドゥケーター）、山田 大輝（市民のアトリエ アシスタント）



撮影：新津保建秀

版画室の各種プレス機や刷り台を使って版画の制作を行うことのできる時間です。自分一人で機材を取り扱える方を対象とします。制作についての不安な点は、インストラクターやエドゥケーターにご相談いただけます。ご参加は一日単位となります。ご自身の制作ペースにあわせて希望日を選択の上、お申し込みください。また、予約がとれない場合は、キャンセル待ち予約をご利用ください。

※機材の取扱い未経験の方は、「版画体験コース」に参加してからお申し込みください。

● 期間 37 3期＝11/11～12/19の毎週水、土曜日 締切10/1
38 4期＝1/13～3/20の毎週水、土曜日（2/27は休み）
締切12/3

● 時間 水曜日10:10-16:30／土曜日14:00-16:30

● 定員 銅版画プレス機＝6名／スクリーンプリント刷り台＝4名
リトグラフプレス機＝3名／木版プレス機＝1名

● 参加費 [水] 3,000円／[土] 2,000円
※版や紙、フィルムは各自でご用意ください。

市民のアトリエ「平面室」をご紹介します！

市民のアトリエには「版画室」「平面室」「立体室」の3つの部屋があり、それぞれの特徴を活かした企画や、展覧会に関連したプログラムを開催しています。今回は、その中から“平面室”をご紹介します！

平面室は、デッサン、油絵、日本画などの絵画制作を中心に、さまざまなアート表現に関するワークショップやレクチャーを行う多目的な空間です。白い壁と天井高5mの開放的な室内には、美術モデルやモチーフを描くのに理想的な採光を再現する調光付き照明を完備。創作活動に没頭できる心地よい環境が整っています。この部屋では、現代作家によるワークショップを通して作品のコンセプトや用いられている技法に触れてみたい方、オープンスタジオで自分のペースでじっくり描く時間を過ごしたい方などに向けて、幅広くアートに親しむ機会をご用意しています。

11月に開催する「ぐるりアトリエ見学会」では、どなたでも自由にデッサン体験をしていただけます。ぜひ“平面室”をのぞきにきてください！



非公開の倉庫には、制作のためのさまざまな道具や画材、モチーフを保管しています！



「ぐるりアトリエ見学会」の様子（2024年度）

予告 今年も開催！ ぐるりアトリエ見学会

横浜美術館には市民のアトリエとともに、小学校6年生までの子どもたちを対象とした子どものアトリエがあります。どちらの施設も普段はプログラムに参加する人しか中に入ることができません。そこで、両アトリエを公開する特別なイベントを開催します！体験コーナーやアーティストによるデモンストレーションを間近で見学できる時間もあります。皆さまのご来場お待ちしております。

日程＝11/1⑩・3④⑧ 時間＝10:30-16:00

会場＝子どものアトリエ、市民のアトリエ

対象＝どなたでも（小学生以下は保護者同伴） 参加費＝入場無料、事前申込不要

※詳細は横浜美術館ウェブサイトにてご案内いたします。



立体室でのデモンストレーション（2025年度）

横浜美術館の展覧会

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【企画展】

マリー・アントワネット・スタイル

2026年8月1日⑤－11月23日⑧⑨

休館日＝木曜日（8月13日、9月24日、11月19日は開館）

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット。王妃の装いやインテリアは、ファッションから映画まで、広く影響を与えてきました。18世紀に王妃がつくりあげた「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

フランソワ＝ユベール・ドルーエ《コートドレスのマリー・アントワネット》1773年
ヴィクトリア＆アルバート博物館所蔵
©Victoria and Albert Museum, London



【企画展】

毛利悠子 Recompose

第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館帰国展

2026年7月24日⑤－11月23日⑧⑨

休館日＝木曜日（8月13日、9月24日、11月19日は開館）

国内外で目覚ましい活躍をみせるアーティスト、毛利悠子（1980年神奈川県生まれ）。2024年の第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館で開催され、大きな話題を呼んだ個展「Compose」が、横浜に凱旋します。日用品や自然物、機器を介して、不規則な動きや光、音を生み出すインスタレーション作品群。ヴェネチアでの展示から2年を経て、横浜で再構築（recompose）される毛利悠子展にご期待ください。



ポスターデザイン：山田菜津子

【コレクション展】

海をこえてゆく彼女

2026年8月1日⑤－2027年2月11日⑧⑨

※ただし11月24日④-12月10日⑧は閉室

休館日＝木曜日（8月13日、9月24日、11月19日、2月11日は開館）、
12月29日-1月3日

企画展の主役、マリー・アントワネットにちなみ、国境をこえて活躍した女性たちに着目します。とりわけ本展では、20世紀の世界を舞台にしながら、そしてたくましく生きた女性たちの創作をたどります。グローバリゼーションのうねりのなかで生まれた彼女たちの作品にやどる生命力に、どうぞ注目ください。



吉田ふじを《伊国ヴェニス市 ドーテの宮殿》
1906年、吉田千鶴子氏寄贈

講師・アーティストの紹介

赤本 啓護 あかもと・けいご

1985年 東京都生まれ。2013年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻版画コース修了。'16〜'19年度 同大学版画研究室助手。自然と都市あるいは生活と環境といった視点をテーマに、銅版、デジタルを組み合わせる平面作品を制作、発表している。

岩淵 華林 いわぶち・かりん

神奈川県生まれ。2011年 東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域修士課程修了。ギャラリー椿、Der-HorngArtGalleryでの個展など、国内外でスクリーンプリントを用いた平面作品を発表。現在、東京造形大学、女子美術大学非常勤講師。
<http://www.iwabuchikarin.com>

中村 義孝 なかむら・よしとか

1954年 水戸市生まれ。'77年 茨城大学教育学部美術科卒業。'84年 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。'97年 文部省在外研究員として渡伊（ローマ国立近代美術館に派遣、ローマ国立美術学院在籍）'98年帰国。2007年 筑波大学教授、現在、筑波大学名誉教授、女子美術大学特別招聘教員、一陽会運営委員、日本美術家連盟会員。個展多数。美術鑑造に関する著書等多数。2014年個展「YOSHITAKA NAKAMURA Mostra scultrea」ヴェネツィア・クロチェッティ美術館（ローマ）。

崔 恩知 ちえ・うんじ

1979年 韓国ソウル生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻版画研究領域博士前期課程修了。2015年 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ美術館賞受賞。日本美術家連盟会員。自然と宇宙の空間をテーマに、人々の人生を、自然現象を通して表現している。
https://www.instagram.com/eunji_artworks

横尾 拓郎 よこお・たくろう

1986年 千葉県生まれ。2019年 メルボルン大学Victorian College of the Arts 版画・ドローイングコースBFA卒業。'24年より東京藝術大学版画研究室リトグラフテクニカルインストラクター。版画的な平面表現・インスタレーションを通して身体と場所、記憶、言語について考え、世界の中の距離や区切りについて痕跡を通して観察し、反復運動を用いて隠れたイメージを表出させることを試みている。
<https://takuart.net>

渡辺 達正 わたなべ・たつまさ

1947年 愛知県生まれ。'70年 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。在学中、駒井哲郎指導のもと銅版画制作を始める。卒業後、同大学に勤務し1997年版画専攻教授に就任する。銅版画の多様な素材と技法を研究し、日本を代表する版画家の一人として様々な技法開発や版画教育に尽力している。現在、多摩美術大学名誉教授、春陽会会員、日本美術家連盟会員。

申込方法

ウェブサイトの各プログラムの
「申込フォーム」からお申し込みください。

- ◎応募者多数の場合は抽選となります。
- ◎一部のプログラムを除き、対象年齢は12歳以上です。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」（自動返信）をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申し込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。

※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 市民のアトリエ

Tel. 045-221-0300

受付時間10:00~18:00

休館日=木曜日（9/24、11/19、2/11は開館）、12/29~1/3

〒220-0012

横浜市西区みなとみらい3-4-1

●アクセス

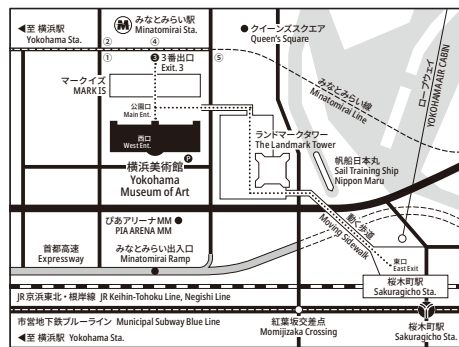
- みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅（3番出口）から、マークイズみなとみらい（グランドギャラリー）経由徒歩3分
- JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から（動く歩道）を利用、徒歩10分
- 駐車場（10:00~21:00、台数157台）最初の90分は500円、以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引（最初の90分無料）があります。

●乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

